# 楠隼Letter ～来たるべき日のために～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第６６号
～令和７年３月発行


## 海外大学企業連携研修（中3） フロントランナーとの出会い（中2） イングリッシュデイズ（中1）

３月は，中学校の各学年において，行事がありました。

まず，３年生は３月４日（火）～８日（土）の３泊５日の日程で，「海外大学企業連携研修」としてシンガポールへ行きました。この研修の目玉の一つである「模擬国連」。生徒たちは，それぞれの国の立場になり，準備を重ねてきました。当日はオールイングリッシュによる発表を行いました。また，自主研修を通して，海外の文化について触れることができたようです。この経験を今後の高校生活にも生かしてほしいと思います。

２年生は，３月４日（火）～６日（木）の２泊３日の日程で，「フロントランナーとの出会い」として福岡・熊本へ行きました。２日間の日程で九州大学へ行き，大学構内の散策をしたり，実際の講義を受けたりしました。講義では，生物学や数学についての講義を２時間受けるなかで，まだまだ先のことだと思っていた大学生活について思いを馳せたり，決意を新たにしたりする機会になったことと思います。

１年生は，３月５日（水）・６日（木）の２日間，「イングリッシュデイズ」がありました。

大隅地区のALTの先生方と，オールイングリッシュで様々な活動を行いました。特に，２日目に行った各班による劇では，ストーリーの構成からセリフまでALTの先生方のご協力をいただきながら各班のメンバーで協力して作り上げました。この活動を通して，英語へ親しみを持ったり，英語学習への意欲を高めたりすることができたと思います。

楠隼Letter
～来たるべき日のために～
鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第６６号（裏面）
令和７年３月発行
鹿児島県立楠隼 中学校・高等学校

# 楠隼高等学校第８回卒業式

令和７年３月３日（月）に楠隼高等学校第８回卒業式が行われ，49名が学び舎を巣立ちました。今年度も，中高の在校生全員が参列し，多くの来賓の方々や保護者の方々にご臨席いただきました。

卒業生たちが学校生活や寮生活をともに過ごした６年間または３年間は，新型コロナウイルス感染症により，多くの制限をされ，思い描いていたものとは違ったかもしれませんが，その中でできることを見つけ，考え，団結力を発揮し，学校の中心となって引っ張ってくれました。特に今年度の文化祭や体育祭に一生懸命に取り組む姿は印象的でした。

卒業生代表生徒は挨拶のなかで「肝付という土地にノスタルジックな空気を感じるようになった。」と述べていました。全国各地からやってきた生徒達は，農業漁業民泊体験などの行事を通して，地域の方々のあたたかさや大隅の自然の豊かさを実感し，肝付町近隣の方々からご提供いただいた食材などを食べて成長していきました。肝付を第二の故郷として育ち，楠隼で学んだ子どもたちがそれぞれの場所で活躍してくれることを期待しています。地域の皆さまに様々な形で支援していただきましたことをこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。